



アミール・ツアルファティ

[中東とその先 2025 年 8 月 13 日]

パレスチナ国家は本当に重要なのか？ ガザ包囲、イランの崩壊、世界的な欺瞞

<https://youtu.be/lzVqvaXPLLc>



アミール： シャローム。ガリラヤからはこんばんは。カリフォルニアからはおはようございます。ジェズレル溪谷の CONNECT から、アミール・ツアルファティです。

「中東とその先」へようこそ。南カリフォルニアのバリー牧師、シャローム。元気ですか？

バリー： シャローム、アミール。元気です。会えて嬉しいよ。

アミール： 私も会えて嬉しいです。やっと時差ボケも治ったようです。多分、またアメリカへ旅する時期が来たのでしょうか。しかし…ええ、それが私の人生です。はい、今日は、中東および、その先の出来事に関して超重要で盛りだくさんのアップデートです。バリー牧師、まずはお祈りから始めましょう。その後、この非常に重要な最新情報について詳しくお話しします。

バリー： もちろんです。

主よ、あなたの御言葉に改めて感謝します。神よ、私たちは驚かされないことに感謝します。今日話す事柄の中には、あなたの御言葉を通して私たちに明らかにされている要素もあります。神よ、私たちの言葉を明瞭にし、聞く者の耳に触れてください。そして、私たちがさらに備え、さらに強い切迫感を持って、間もなく来られる王について人々に伝えることができますように。今日、この機会を与えてくださり感謝いたします。イエスの御名によって、あなたの祝福と油注ぎをお祈りいたします。アーメン。

アミール： アーメン、アーメン。

さて、バリー牧師、今日は盛りだくさんです。

バリー： ええ、盛りだくさんです、アミール。今日の一連の内容が、ちょっと面白くて、世の中に激変が起こっています。そして、そう遠くない将来に、大きな出来事が起こると私は信じています。すべてのものが、世界の地政学的基盤全体が再形成されるでしょう。あなたの近所で、かなり興味深い出来事が起こっていますね。それから、もうすっかりお馴染みの名前になりましたが、ムスリム同胞団に関しても、米国政府内に、彼らをテロ組織と指定する動きがあります。彼らがテロ組織であることは、かなり明白だと思います。しかし、なぜこの動きが国際舞台で重要なのでしょうか？

アミール： ええ、まず第一に、アメリカにとってこれは重要だと思います。なぜなら、多くの「イスラム教団体」が現在、無害だとみなされています。あるいは、実際に人々が世界の他の地域で彼らがやっているのと同じイデオロギー、政治や慈善活動などを通じてアメリカを乗っ取ろうとする行為に参加しています。だから、私はそれがアメリカを乗っ取りの試みから救うことになると思います。しかし、それだけではありません。ハマスさえムスリム同胞団ではありませんし、アルカイダも、すべてそこから派生したのです。私たちは忘れてはなりません。サウジアラビア、UAE、クウェート、バーレーン、さらにはヨルダンやレバノンなどの、穏健なスンニ派イスラム世界では、ムスリム同胞団



は、実際、違法です。それが、非常に興味深いことに、西洋社会では、ところで、イスラエルも含めてです、彼らをテロ組織とみなすことを非常に恐れています。なぜなら、彼らは一日中銃を持って路上を歩いているような者たちと全く同じではないからです。では、彼らは何者なのか？ムスリム同胞団は、明らかに、イデ

オロギー運動で、国や地域をイスラム教が乗っ取って、最終的には支配するための土壌を整えています。そして最後の段階は通常、強制的に行われます。しかし、彼らは慈善活動や公務を通じて静かに社会に入り込み、そして、まず地方の政治に、そして国内の政治、その後、国際的な政治に進出します。いつの間にか、国家は彼らの支配下となり、大陸がほぼ支配されるようになります。それこそがアメリカが直面している大きな問題、大きな危険なのです。これは、ムスリム同胞団をテロ組織と指定しようとする西側諸国で初めての試みだと私は思います。そして、もっともっと多くの国がそれに倣うことを願っています。だから、もしアメリカが本当にそれに成功すれば、それは画期的なことだと思います。私は最高裁がそれを破棄したりしないことを願っています。なぜなら、繰り返しますが、

民主主義の本質は、最終的に自らを破壊することで、そして多くの場合、憲法に反する、あるいは非民主的であるとみなされるものを破棄するのは司法部門です。しかし結局のところ、ムスリム同胞団がやっていることは、まさにそれなのです。彼らは本質的に非民主的です。しかし、彼らは民主主義国の法律を利用して、民主主義国を乗っ取ろうとしているのです。だから私は、それは賢い動き、良い動きだと思うのです。そして私は、アメリカがこれをやり遂げてくれることを、心から願っています。

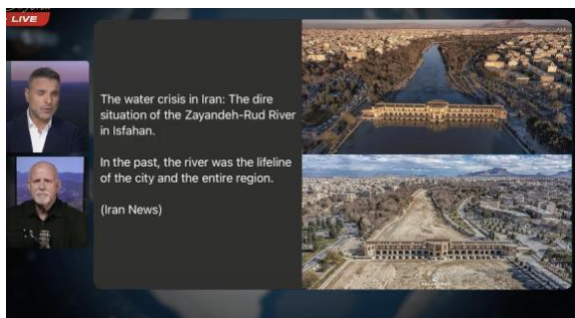
バリー： そうですね、アミール、あなたが今指摘されたように、アラブ諸国すべてが、基本的にムスリム同胞団を非難していることを考えると、興味深いですね。ウォークのアラブ諸国は存在しません。そして、この公平性と平等性を気にして、特定のグループをテロ組織などと分類しない、こうした愚かな決断を下しているのは、全て西側諸国です。

そして彼らは、あなたが先ほど指摘した、移民による浸透戦術には気づいていません。私たちは、ものすごい時代に生きています。私はいつも、イザヤ書 3 章を思い出します。その中で、主は、子供を彼らの君主とし、彼らを治めさせると言われます。私は常に、これは無能なリーダーシップのことだと思っています。そして残念なことに、今の世界ではそういったことがたくさん起こっています。アミール、イランとイラクで起こっている出来事は、いつも、主が戦うとおっしゃる大患難時代に起こる水不足と電力不足を思い出させます。そして、歴史を通して見てきたように、神は自然災害を利用して人々を懲らしめ、また罰を与えます。私は、私たちがかなり急速にその方向に進んでいると思わずにられません。

アミール： まさに。興味深いことに、イランは深刻な干ばつに見舞われており、深刻な水不足から、電力不足にもつながっています。彼らのインフラは非常に古く、まったく発達していません。数十億と言わずとも、何億ものお金が、非常に、非常にイデオロギー的に…愚かな政権と言います。はい、この言葉は使っても良いのです。これは聖書に出てくる言葉ですよ、ご存知でしたか？（**バリー：** その通り。）ともかく、この政権は、自国民の福祉よりもイスラエルの破壊を優先します。そして見てください。現在、中東全域で熱波が起こっています。そして、見ての通り、あちらの病院では電気が切れています。見てください、あれは病院ですよ。電気がなくて、手術室が使えない。医師は何も出来ません。水を見てください。イランの都市の中心部にある川は完全に消滅しました。この実に素晴

らしい川を見てください。これは、エスファハーンのザーヤンデルード川です。ほとんどなくなっています。それだけではありません。テヘラン市内および周辺には貯水池では、20%しか水が残っていません。イランの大統領と、その後、何人かの大臣だったと思いますが、次のように言っています。

「今年の終わりまでに、家庭の蛇口から水が出なくなる。」本当に驚きです。それと同時に、ちなみに、イラクでも同じことが起きています。イラクも同様の不足に悩まされています。しかし、イランは奇跡的に数億ドルを見つけて、ヘイバル・シェカンのような新しいミサイルを開発しました。そして昨夜、真夜中にイランの空、皆の目の前で、新型ミサイルの実験が行われました。実験は、6 月 22 日の攻撃でイスラエルに対して使用されたのと同じ武器のヘイバル・シェカンだけでなく、彼らはまた、同時に多数の集中砲火を行う実験もしました。我々の防空システムを枯渇させることができると



いうシグナルをイスラエルに送るためです。いいですか、彼らには水道水がなく、電気がないんです。国内に、ひどい問題がたくさんあるのです。ちなみに、そのため、昨日、イスラエルのネタニヤフ首相は、イラン国民に向けた英語のビデオを公開しました。基本的に、彼は、こ

の、悪化する水危機の悪化を受けて、次のように言いました。「あなた方が解放され次第、イスラエルは水のリサイクル技術を提供します。自分たちの未来のために、街頭に出て行動してください。」ネタニヤフは、少しも時間を無駄にせず、人々にこう言っています。「皆さん、時間を無駄にしてはいけません。あなた方は、水や電気が不足しているだけでなく、国が崩壊しつつあるのです。」そして、もはや影響は政府だけではなく、現在、すべての人に及んでいます。そして彼はこう言いました。「我々はイラン国民の破滅を望んでいない。私たちはあなたを助けたいのです。」

ちなみに、イラン政権の弱さは国際的にも明らかです。トランプ大統領は、アゼルバイジャンとアル



ルメニアの間の和平協定を仲介したばかり、40 年にわたる戦闘の末です。そして問題の核心の一つは、ナゴルノ・カラバフの存在でした。アゼルバイジャンにあったアルメニアの飛び地で、現在はアゼルバイジャンが占領しています。しかし、また、ナヒチェヴァンと呼ばれる

地域は、これはアゼルバイジャン領土ですが、アルメニアが、アゼルバイジャンから切り離し、私た

ちがザンゲズール回廊と呼んでいる場所です。アメリカは、アルメニアからザンゲズール回廊を借りることで、この問題を解決しました。これで、アゼルバイジャン人は、両国間の安全なルートを確保できるのです。そして基本的に、そうすることによって、アメリカは、アルメニアとイランの間にあった国境を彼らから奪ったのです。そして今は、アメリカ軍が、イランとの国境に駐留しています。実際、NATO 軍は、歴史上初めてトルコからアゼルバイジャンを経由してカスピ海にアクセスできるようになりました。イランは長年にわたり、ザンゲズール回廊を誰も占領してはならない、イランがそんなことは許さない、と脅迫してきました。しかし、イランはあまりにも弱く、イランは麻痺しています。そしてイランは、今回の件でアゼルバイジャンの背後に立っているロシアとトルコに逆らいたくありません。ですから、イランの弱さが他の分野にも影響していることは明らかです。そして面白いことに、イランの弱さが世界中の他の場所に平和をもたらしているのです。イランが強くなると必ず戦争が起こります。

最後に、バリー牧師、レバノンです。レバノンでは、レバノン軍とヒズボラの連絡役を務めていたレバノンの准将が、突然解雇されました。彼はシーア派イスラム教徒で、実は議会におけるヒズボラの政治陣営の指導者の家族の一員でした。その彼が、一夜にして解雇されました。1 年前なら、ヒズボラがレバノンを転覆させて、この動きは不可能だったでしょう。ヒズボラは非常に弱体化しています。イランが弱っているために。だから今は、このようなことが起こり得るのです。イランは、レバノンで起きている事態に警戒しています。彼らは、レバノンのヒズボラに数十億ドルを投資したのです。イランの最高国家安全保障会議のアリ・ラリジャニ書記長が、本日ベイルートに到着、彼は空港でヒズボラ支持者たちの出迎えを受けました。しかし、その後、彼は演説をして、彼はまるで、レバノンがイランの保護下にあるかのように彼らに話しました。しかし、彼がレバノン大統領のジョセフ・アウンを訪ねた時、彼は聞きたくなかったことを耳にします。ジョセフ・アウンは、アリ・ラリジャニにこう言いました。「我々は、主権と相互尊重の枠組みの中で、イランと協力したい。最近イラン政府高官らがとった発言は、状況の改善にはつながらない。レバノンでは、治安部隊以外、誰にも武器を所持することを許可しない。また、いかなる政党による内政干渉にも反対する。」言い換えれば、イランはヒズボラに武器を与えるべきではない。ヒズボラには武装し続ける権利はない。武器を保有できるのは、レバノンの治安部隊、すなわち軍隊と警察のみである。こうしたタイプの発言は、イランやヒズボラが強かった時代には決して起こらなかったことです。現在、イラク、イラン、レバノン

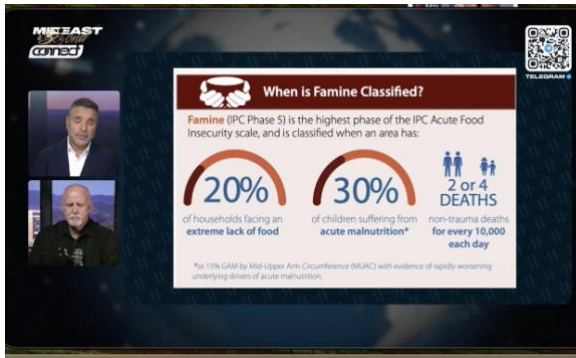
で、両者の弱さが、中東、アルメニア、アゼルバイジャン、イラン国境でも、はっきりと嗅ぎ、見て、感じることができます。ですから、かなりすごい事です。バリー牧師。今週、イランでは信じられないようなことが起こっています。

バリー： アミール、これは 2 つの展開の可能性を示していると思います。これらの国々の一般大衆は、絶え間ない戦争と国家資源の浪費にうんざりしているようです。先ほどおっしゃったような、水も食料もない状況でのミサイル実験や、そして、その他、世界中で目にしているあらゆる出来事。そのため、中東だけでなく、世界中の一般の人々が平和を渴望しています。そしてその裏側では、あなたが今言ったような状況、権力欲の強い政権がいて、そして、トルコやロシアといった、彼らが力を失いつつあるのを見ているパートナーたちは、突き動かされるようにして、早まった行動に出たり、あるいはやむをえず、イスラエルを侵略するようになるのかも知れません。ですから、今、世界でこれらの出来事を目撃している私たちは、非常に興味深い預言的な時代にいます。そして平和の人が現れると、これらの状況から彼らを救い出し、古いスローガンですが、「全ての鍋に鶏肉を」キャンペーンのとおり全ての食卓に食べ物が並ぶ。その一方で、権力を失いたくない者たちがいます。そしてもちろん、先ほどのムスリム同胞団の話では、アメリカがあのような立場を取っていますが、両国の関係を考えると、トルコはこれをあまり喜ばないでしょう。ですから、高い可能性で、世界舞台で預言的に物事が非常に急速に発展すると私は考えています。

さて、もちろんハマスとガザの話があって、中東に関して言えば、それが常にニュースの見出しです。そこで、ユナイテッド・ナッシング(UN)が試みてきた馬鹿げた行為と、ガザ地区の現地の状況について、最新情報を教えてください。

アミール： はい。まず、覚えていますか？先週、イスラエルの内閣の決定についてお話しました。先週の「中東とその先」の最中の出来事です。私たちが放送している間に、内閣は会議を開き、非常に長い時間、ほぼ 10 時間にわたって会議を続けました。そして最終的に、ガザ市を占領し、その後中央キャンプの最後の拠点を占領するという決定が下されました。ネタニヤフ首相は昨日、国際メディアの前に姿を現し、改めて、戦争を終結させるための五つの原則を、皆に知らせました。ちなみにネタニヤフ首相は、ハマスとの 60 日間、90 日間を含む、部分的な取引は、もう全く興味がないと言っています。これからは、戦争を終わらせること、我々の要求に従って戦争を終わらせることがすべてです。

つまり、当然のこと、ハマスの武装解除、生存者と死者両方の人質の解放、ガザ地区の非武装化、現在ヨルダン川西岸地区で行っているのと同様に、イスラエルがガザ地区全域で治安管理を行う、そして、イスラエルではない外部の組織が、将来ガザの政府を引き継ぐ。ネタニヤフによれば、それは、ハマスでもパレスチナ自治政府でもありません。なぜなら、両者ともイスラエルの破壊に全てを捧げていますから。どうしてそれが分かるのか？なぜなら教科書です。パレスチナ自治政府でさえ、イスラエルの破壊を語り、「川から海までパレスチナ」と語っています。ですから、明らかに、これらどちらも、教科書やガザの将来の政府にも関わることはできません。私たちはこれが実現するように努めます。もちろん、上記のすべてに、ハマスは全く興味がありません。ハマスは、これまでも人質全員を引き渡すことに、全く興味がありませんでした。それは彼にとって最後の交渉材料ですから、彼は決して手放しません。実際、ハマスの指導者オサマ・ハムダン、カタールのアル・アラビー・チャンネルに次のように語りました。「その考えの中には、ガザ地区への攻撃の完全な停止、イスラエル国防軍の完全撤退、検問所の開設、ガザ地区の再建、その後…」つまり彼は、基本的にこう言ったのです。「ずっと以前に、私たちは包括的な契約を組み、それを提示した。これらすべては、ガザの再建が済んだ後に、まず、行われなければならない。捕虜交換のための包括的な合意はその後だ。」彼にとって、10 月 7 日に我々が捕らえたテロリスト、国民を焼き殺し、強姦した者たち、彼らを釈放しなければならない。彼にとって、これらは捕虜なのです。彼らは何年も前の「古い」パレスチナ人捕虜ではなく、彼らは、ハマスのヌフバのテロリスト全員も釈放されることを要求しています。だから彼らは決して、絶対の絶対に、「戦争を終わらせるのと引き換えに、人質全員を引き渡す」とは言いません。いいえ。彼らが言うのは、「お前たちは戦うのを止め、お前たちはガザ全域から撤退しろ。お前たちは我々に人道的援助を大量に送り、お前たちは我々に復興事業を大量に送り込め。」つまり、建設、瓦礫の片付け、そういったことです。そして、「そうすれば、我々は…」彼らが言ったのは…「捕虜交換の協議に応じる」捕虜交換の協議に応じる、です。考えてみてください。信じられません。つまり、最後の人質の解放は 20 年後、ガザが再建された後、ということです。そしてまた、このすべての中でハマスは自身の武装解除や、ガザからの撤退、ガザの非武装化について、一度も語っていません。それは彼らの語彙にさえ存在しません。バリー牧師、この全てが…



もう一つ、あなたが言及していた興味深いことは、イスラエルを陥れることに執着している国連です。彼らは、それに執着しています。最近分かった事ですが、彼らが再び、こっそり規則を変えようとしていたのです。国連が支援する飢餓監視団体が静かに基準を変更し、ガザ地区での飢餓宣言を容易にした。なぜ？ほら、飢饉とは、飢饉の基準は通常、子どもの 30% が…これを見てください。子どもの 30% が急性栄養失調に苦しんでいる時です。そして彼らは、ガザはこれに当てはまらず、ガザの数字はその半分であることを知っています。ちなみに、これは世界中の多くの国々、特に戦争で被害を受けた国々で起こっていることです。しかし、ガザでは 16% です。それで、その監視団体は何をしたか？基準を 15% に引き下げました。それで、今は 16% ですから、ほら、飢饉だ。信じられません。彼らは、飢饉など存在しないことを分かっている、飢饉をでっち上げなければならない、だから、規則を変えます。ちなみに、彼らがそれを試みたのは、これが初めてではありません。アイルランドは、1 年未満前に、大量虐殺を再定義しようとしていました。大量虐殺の定義を改めて、イスラエルが大量虐殺で告発されるようにしたのです。彼らは何と言ったか？「ある場所への人道支援を阻止することは、大量虐殺だ」と彼らは言いました。明らかに、それは大量虐殺ではありません。国際戦争法によれば、人道援助が送られ、敵がそれを奪って使用した場合、実際に、人道援助の流入を止めることが出来ます。それが国際法です。言い換えれば、イスラエルを陥れるために、アイルランドはルールを変えようとしたのです。ちなみに、それが本当なら、ロシアはウクライナに食料を供給しなければなりません。そして、世界中のあらゆる紛争において、戦う者は皆、敵に食料を与えなければなりません。もちろん、そんなことは起こりません。しかし、唯一イスラエルだけは、地球上で唯一、国家が戦争中に、敵国に食料を供給するよう要求されているのです。国連は、私たちのトラックの 88% がハマスによって略奪されていることを認めています。今日、私のテレグラムチャンネルで動画を投稿しましたが、ハマスは、それを乗っ取るだけでなく、支援トラックを自分たちの倉庫まで持って行って、やりたい放題しています。信じられません。ちなみに、ガザには食べ物がたくさんあります。大量の食べ物です。それから、Imshin というインスタグラムのアカウントがあるのですが、私は、私たちのポッドキャストでジャッキーさんをここに招きました。信じられません。毎日、2 時間前、3 時間前、5 時間前の動画をアップロードしてい

ますが、すべてが、ガザにある大量の食糧を映しています。我々は信じられないものを見ているのです。

そして最後に、バリー牧師、これが今日の放送のテーマで、パレスチナ国家の承認についてですが、後で話すことにします。とにかく私が言いたいのは、彼らは、私たちを飢餓や飢え、大量虐殺の罪で訴えようと躍起になっています。唯一、この件だけは、世界で唯一飢えている国民が、他者を飢えさせていると非難され、唯一大量虐殺に反対している国民が、大量虐殺を犯したとして告発されている、本当に信じられません。あまりにも意味が分からないから、これは霊的なものであるに違いないと理解するほどです。あなたはいつも、霊的な側面、強い惑わしの力について言及していますが、今、私たちはそれを見えています。そしてとても悲しいことに、多くの善良な人々がこの説話、このゴミに騙されるのを目撃しています。誰も数字をチェックしていません。誰も事実を確認せず、彼らは全員嘘を信じています。感謝なことに、まともな人がある程度いて、舞台裏で誰が何をしているかをチェックしています。数字や物事の多くが操作され、イスラエルが実際には行っていないことを、公に非難しています。信じられないことです。でも、私はここで常識を見つけようとするのをやめました。それが霊的なものだと理解すれば、何が起こっているのかが理解しやすくなります。

バリー： ええ、アミール、衰弱した幼児の写真が広まっていますが、その子は生まれつき、ある種遺伝的な疾患を患っています。そしてその子は、肥えた母親に抱かれて、その脇にはよく肥えた弟が立っています。しかし、誰も疑問を抱きません。母親と兄弟は十分に食べているのに、なぜこの少年は飢えているのか？本当に、基本的な論理です。そして、先ほど話していたことのいくつかを見てみれば、国連から、バカバカしい発言が飛び出しています。彼らは、中東の唯一の民主主義国を標的にしています。多様な宗教的信仰と慣習が存在し、人々がそれを公然と享受できる国。イスラエル国内には 200 万人以上のアラブ人が住んでいますが、ガザにはユダヤ人は住んでいません。イスラエルの滅亡を望む国の多くには、ユダヤ人がいないか、もしくは非常に少ない。しかし、ここに、現代的な考え方を代表する国があって、宗教を自由に実践でき、何を信じているにせよ、自由に投票できます。自由にビジネスを行うことができます。私はあなたと一緒に、パレスチナ料理のレストランや、アラブ料理のレストランに行ったことがありますし、店員さんたちも素晴らしかったです。しかし、非難の矛先はすべて、イスラエル国家に向けられています。

これが、毎週チャンネル登録をお願いしている理由の一つです。これらのアップデートを「いいね！」するだけでなく、コメントやシェアもしてください。実のところ、これが、いわばこの種のプログラムを上位に押し上げるのです。YouTube を開くと、さまざまな番組のサムネイルが表示されて、多くの視聴数を集めています。そして、私たちはこのプログラムをそこに出して、他の人たちが真実を見聞きできるようにしたいのです。ですから、皆様のご協力に感謝します。

アミール、イエメンはまだ問題になっています。

アミール： そうです。イエメンは、間違いなくまだ関わっています。バリー牧師、問題は…私たちが話しているのは…では、そこで何が起きているのかを理解するために、地図を見てみましょう。イエメンがそこにあって、彼らは今でも、時々無人機やロケットを発射しています。しかも彼らは、それをほぼ毎週行っています。しかし、イランがイエメン人にロケットと無人機など物資を供給するルートが3つあることが分かりました。一つは、バンドレ・アッバースからイエメンのサリフ。これは、直行ルート、つまり、バンドレ・アッバースからアル・サリフ港まで、船で一本です。二つ目のルートは、もちろん、ソマリアルートです。ソマリアルートはソマリアの海岸を迂回し、そこで武器をイランからモガディシュなどの港に輸送し、そこからイエメンへ移送します。そしてもちろん、ソマリアの北西にある別の国、ジブチルートです。これが3番目です。それは2番目、3番目はジブチルートです。ジブチルートは、はるばるジブチ市の港まで船で行き、そこからイエメンのラス・イッサ港へ直行します。それ以外にも、シリア、レバノン、ヨルダン、オマーンは、フーシ派の密輸業者が、訓練や調整のためにイランへ渡航するのに重要な通過地点として機能しています。今画面に映っているものが、そのすべてを物語っています。密輸、密輸、密輸、密輸、彼らは、あらゆる港や空港を利用して人々を移動させ、実際の武器密輸作戦に従事させています。ですから、フーシ派は継続しています。私はすでに言いましたが、イスラエルは何か大きなものに備え、それに取り組んでいます。我々に準備ができれば、皆さんもそれについて見聞きして、分かるでしょう。

バリー： だから、お見逃しなく！

はい、アミール、先ほどパレスチナ国家と、いわゆる親パレスチナの国の増加について触れましたが、国際裁判所は歴史を通じて非常に明確にしてきたと思います。さかのぼること、第一次世界大戦

時の、サンレモ決議とバルフォア宣言、そして国際社会は、ユダヤ人が彼らの祖国と呼べる土地の一部を確保しました。そして、彼らは、約 3,500 年もの間この土地に存在してきました。しかしこれまた、今日多くの人にとって歴史は無関係、事実は重要ではありません。そして、神がユダヤ人に実際に与えた土地を、パレスチナ人が所有する権利が、世界中でますます多くの人々の関心を集めています。繰り返しますが、これはその妄想の一部にすぎません。全く意味が分かりません。実際、それは国際法に違反しています。そこで、パレスチナ国家に関して、今、国際的な最前線で何が起きているのか、説明してください。

アミール： ええ、先週、ルビオ長官が次の事実を認めたことが全ての始まりです。ハマスと 10 人の人質の解放について、部分的な合意があった。しかし、フランスのマクロン、マカロニ、彼が前に出て「私はパレスチナ国家を承認する」と言った瞬間、ドカン、ハマスはすべてを放り投げて、「よし、これで終わりだ」と言ったのです。「我々は何も要らない。我々は世界メディアの支持を獲得できると信じている。だから、何ひとつ譲歩するつもりはない。」そしてマカロニに続いて、イギリスのストロマー、オーストラリア、ニュージーランド、スペインが、突然、次々と「パレスチナ国家を承認する」と言っています。しかし、多くの方は「えええーどうなるんだ？」と思うでしょう。思い出してください、すべての始まりは…ずっと昔に遡るのです。国連に加盟している国は 193 カ国あります。



ちなみに、1988 年まで遡ります。11 月中旬、PLO のアラファト議長が、突如として国家樹立を宣言しました。ええ、彼は何かをつぶやいて、基本的に、多くの国がパレスチナ国家を承認するに至りました。何もありません。ただ、認識しただけです。そして、もちろん、2013 年だっと思いますが、暴力がさらに増すと、さらに承認する

国が増えました。そして 2023 年に向けて、さらに暴力が増すと、さらに多くの国々が承認しました。今では、さらに多くの国々が、ユダヤ人に対して武器を使用したパレスチナ人に報酬を与えようとしています。つまり、文字通り、パレスチナ人の軍事作戦や暴力と、パレスチナ国家を承認する国の数の間に相関関係が見られます。見てください。フィクションであるパレスチナは、1987 年上昇し始め、2012 年上昇し、2024 年 10 月 7 日以降、上昇しています。パレスチナ民に対する解決策の欠如は、私たちが住む愚かな世界の責任であることが、はっきりと分かります。なぜなら、彼らはテロを使用す

るたびに、国際的な認知という報いを受けてきたのです。もしそうだとしたら、暴力が報われるのに、なぜ、平和的な手段を使う必要があるのか？それを、みんながマカロニに伝えようとしたのです。誰もが彼にこう言おうとしました。「何をしているんだ？もうすぐ合意が成立するところなのに、何をしているんだ？戦争はもうすぐ終わろうとしているのに、なぜ今なんだ？」彼らは理解していません。マカロニは、自分の国で問題を抱えていて、彼はアメリカとの問題を抱え、自国のイスラム教徒との



問題も抱えています。時には、問題は、パレスチナ人ではなく、むしろ彼自身の問題です。それは英国でも、オーストラリアでも、ニュージーランドでも同様です。しかし、バリー牧師、言っておきますが、彼らは、何でも好きなように認識して構いません。でも、1933 年のモンテビデオ条約によれば、国家承認の基準は、その国に永

住人口が存在することであり、パレスチナ人は、特にガザ戦争後、これを持ちません。領土の定義も、彼らにはありません。彼らが自分たちのものだと思っている領土は、私の国です。彼らには、明確な領土などありません。彼らは、二国家解決を信じていません。彼らは、信じていると言いますが、実際は違います。彼らには、主権、法、秩序を維持する正式な政府がありません。彼らはそれを持っていません。そして、彼らには国際関係を築く能力がありません。何もない。ちなみに、ヨルダン川西岸のパレスチナ自治政府は…ガザ地区のハマスが機能不全なのは言うまでもありませんが、パレスチナ自治政府は、自身の存続をイスラエルに依存しているのです。もしイスラエルが、彼らに私たちから、あるいは私たちを通して税金を与えない、私たちを通して移動手段も与えないと決めたら…あらゆるもの、水も、電気も私たちから供給されていて、彼らは、全て私たちから与えられているのです。一度それらが止まると、彼らは、数日ではなく数時間以内に崩壊します。ですから、これらのどれをとっても、「よし、明日にはパレスチナ国家が誕生するだろう」とは実際に言えません。しかし、言っておきますが、これらの国々が罰せられるには、この決定だけで十分です。私はそう思います。ちなみに、10 月 7 日以降、イスラエル人の 80% はパレスチナ国家を信じていないと思います。つまり、彼らは負けたのです。以前は、それは良いことだと思っていたイスラエル人が結構な数いましたが、今や、この者たちは私たちの隣に住むことを望んでいるのではなく、私たちに代わって住むことを望んでいると、誰もが知っています。ハマスはガザから攻撃しましたが、ヨルダン川西岸地区にもハマ

スの支持者や同調者が溢れているのが分かります。そして彼らは、もし可能なら、明日にも同じことをするでしょう。だから、それは絶対にさせられません。ギデオン・サアル外務大臣は本日、エルサレムで主催されたニュースマックスとの会合で発言した。ニュースマックスが、外務大臣とジャーナリストの会合を主催し、そこで彼はこう述べました。「我々は、我が国の中心部、サマリアとユダヤの山地にテロ組織を入れるつもりはない。イスラエル人とユダヤ人に関しては、パレスチナ自治政府も現在、ハマスと同じイデオロギーを抱いている。我々は、それを認めない。そんな時代は終わった。イスラエルに限って言えば、パレスチナ人は決して国家を持つことはできない。」だから、面白いのです。イスラエル人が、それを否定すればするほど、パレスチナ人は、国際的な支持を得ていく、しかし、すべてがイスラエルにかかっていることに、誰もが同意しています。だから、私には、これはナルニア王国なのです。彼らは、いかなる基準も満たさないと思います。しかし、ヨエル書 3 章によれば、誰でも、イスラエルを分裂させる者、イスラエルの民を分裂する者、イスラエルの民とイスラエルの地に危害を加えている者を、神が裁かれます。ですから、イエスが戻って来て諸国を行いに応じて裁かれる日には、ヨシャパテの谷は非常に混雑するでしょう。

バリ： はい、アミール、あなたはヤセル・アラファトについて言及しましたが、興味深いことに、歴史を振り返ると、彼は、自分の民族が、イスラエルがその特定の地域に存在する以前から存在していたと、接点を構築しようとして、彼は、今日パレスチナ人として知られている人々は、カナン人の子孫であると主張しました。すると 1967 年、彼の顧問の一人がこう言いました。「いや、それは通用しない。イスラエルの神はユダヤ人にカナン人を滅ぼすように命じたのだ。だから、別の集団を見つけたほうがいい。」その時、彼はカナン人からペリシテ人に乗り換えたのです。強調しておきますが、このパレスチナ、またはパレスチナ人というのは、ペリシテ人のラテン形です。そして何度も言いますが、ペリシテ人はアラブ人ではありませんでした。今日のパレスチナ人は、明らかにアラブ人です。ほんの少しの宿題で、すべてが明らかになるのです。しかし、権力のある立場にいる人の中で、もはやその宿題をやろうとする人は誰もいないようです。

アミール： ちなみにパレスチナ人、ペリシテ人という言葉も、ペリシテ人という言葉は「侵略者」を意味します。つまり、彼らは先住民ではなく、侵略者です。ですから、どこを向いても、彼らの存在のすべてが詐欺と嘘の上に築かれていることがわかります。というか、「パレスチナ」という名前を、

彼らは発音すらできません。だから「P」ではなく「F」を使うのです。「フィリスティン」「ファリスティン」というように、アラビア語では「P」をうまく発音できないので、この言葉が使われるのです。彼らは、「P」を「B」に変えて、バメラ、ビーズ・ブロプロセス（和平プロセス）、バレスチナ・ベープル（パレスチナ人）、ビタ・ブレット（ピタパン）、これらすべてを言えないから、だから彼らは「F」にして「フィリステ」「フィリステ人解放」と言うのです。なぜなら、アラブ人にとっては、もともと自分たちのものではなかった単語や名前を発音するより、そっちの方が簡単ですから。これは実際には 1900 年前にローマ人によって発明されたもので、ギリシャ人であったペリシテ人を指していました。

バリー： そうです。アミール、中東以外でも預言的な出来事が起こっています。そして米国では、教会への攻撃が劇的に増加していて、2024 年には 400 件以上でした。ワシントン D.C. 家族研究評議会のトニー・パーキンス氏は、報告書の中で、米国における教会に対する敵意について語っています。それによると、43 州で 415 件の敵対行為があり、383 の教会が影響を受けたとのこと。クリスチャン・ポストが、これらの事実を報道していました。そして、パーキンス氏は、国内で宗教の自由が大きな脅威に直面していると指摘しました。私たちは、ユダヤ人に対するこの敵意が今、ここアメリカのキリスト教コミュニティに波及しているのを目の当たりにしています。いつも言いますが、私たちの国は聖書の原則に基づいて設立され、私たちは、神が、すべての人間の権利を与え、全ての人を平等に創造されたこと、特定の生活要素、生き方の自由、幸福を追求する権利は、すべての人に与えられていると信じています。しかし、私たちは今、このアメリカ合衆国が建国された最も基礎となる部分、信仰のために、一部の人たちが攻撃されています。これもまた、大患難時代に起こる出来事に繋がっていきます。なぜなら、私たちは大患難の時代には、あらゆる部族、言語、民族から数えきれない群衆が、イエスの証と神の御言葉のために迫害され、処刑され、斬首されることを知っています。そして、私たちは、米国でこれが前例のないレベルで増加するのを見ています。

アミール： はい、私も同感です。だからこそ、あなたがいつもアメリカの最高裁判所判事の言葉を引用するのが私は大好きなのです。

バリー： ジョン・ジェイ。

アミール： そう。もう一度言っていましたか？

バリー： ええ、アメリカ合衆国の初代大統領ジョージ・ワシントンによって任命された、アメリカ合衆国の初代最高裁判所長官は、キリスト教国として、我々はキリスト教徒を統治者として選び、優先すべきである、と述べました。想像できますか？ジョン・ロバーツが今日、そんなことを言ったら、最高裁判所は襲撃されるでしょう。しかし、これこそが、建国の父祖たちがキリスト教国家として見ていた我が国のまさに基礎なのです。キリスト教が主流の宗教でした。アメリカ合衆国憲法修正第一条は、いかなる種類の立法にも、議会にも妨害されることなく宗教を自由に実践することを認めています。キリスト教の実践だけでなく、報道における言論の自由も含めて。しかし私たちは、これらすべてからあまりにも遠くかけ離れ、今や、それらの自然な現れとして、ここ米国における教会の迫害を見えています。私たちの道徳的立場のためです。

アミール： その通りです。そして興味深いのは、このウォーク世界、そしてアメリカでさえ、サウジアラビアで、「メッカへのこの道はイスラム教徒専用」と書かれた道路標識を見ても、全く問題を感じません。文字通り、「イスラム教徒専用」と書かれた大きな標識が立つ道路があるんです。サウジアラビア人は、2025 年の今日でも、何の問題もなく、「サウジアラビアはイスラム教の国であり、その指導者はイスラム教徒でなければならない」と言います。彼らはそれについて何の問題も感じていません。そしてアメリカは、何も問題もなくそれを認めるのに、しかし、自分自身のこととなると、ウォーク主義と、このリベラル主義のせいで、かつてアメリカが立っていたものを憎み、それを破壊しようとする者たちを生み出しています。

私が数日前に投稿した話は、イスラム教徒のアメリカ人でしたが、ある女性がベッドに横たわりながら、基本的にこう言っているのです。「アメリカ、私はアメリカを憎む。アメリカは滅ぶべきだ。」彼女は、アメリカで基本的に自由を楽しんでいるのです…

バリー： なぜ来たんだ？

アミール： その通り。なぜ来たんだ？そこで何をしています？しかし、繰り返しますが、彼らはアメリカに来たいのです。その方がずっと楽で、ずっと良く、ずっと楽しいから。そして同時に、あなた方は、あなた方について彼女が本当に思っていることを、彼女が自由に言えるように助長しているのです。しかも、信じられない数です…

そこで、もう一度強調したいと思います。真実のための戦いに、どうか、皆さんも加わってください。今は霊的な戦い、真実のための戦いです。何であれ、私たちがここで言うことは、世界が聞きたくないことで、多くの場合、彼らはそれらのことを知りもしません。そのため、YouTube チャンネルへの登録、動画へのいいね、コメント、動画の共有をお願いしているのです。アルゴリズムによって、それらのアップデートが、皆さんのお友達やご家族のフィードに表示されるようにするためです。ボタンをクリックするだけで非常に簡単です。しかし、大きな違いが生まれます。

最後にもう一つ残っていると思います…いや、いや、はい、最後だと思います…ちょっと待って…

バリー： ええ、まだ2つほど残っていますよ。

アミール： あと 2 つ、そうですね。同性婚の判決に対する異議申し立てです。ではバリー牧師、それについて詳しく教えてください。

バリー： はい、家族研究評議会の報告内容の次にこれを語るのは重要だと思います、アミール。まさにこれが、こうした取り組みの原動力ですから。基本的に、ロー対ウェイド判決の覆し、「覆す」というのは少々誤った表現だと思います。なぜなら、それは憲法上の決定権を、そもそも本来あるべき場所、国に返還したのですから。そして今、10 年前に議題に上がった同性婚の合法化が覆される可能性が出ています。アミール、教会が今日の世界における残された者であることを、私たちは皆認識していると思います。我々の数は、圧倒的に少ないです。そして、この私たちの道德観、結婚に対する立場、中絶に対する立場が、原動力の一部となって、教会への襲撃の増加を引き起こしています。そして、肉体の領域と霊的な妄想、それと私たちが生きている時代から見れば、これは、物事の自然な流れだと思います。私たちは、このようなことを目にするのを予想していましたが、結婚は、聖書が定義し、我が国が元々見ていた通り、男と女の間のものだ、ということ。それと、特に、この元ケンタッキー郡書記官のようなケースが、再び表面化しています。彼女は、同性カップルに結婚許可証を発行することを拒否したとして 2015 年に実際に刑務所に収監され、10 万ドルの罰金を科せられました。その彼女は現在、損害賠償や弁護士費用などを求めて訴訟を起こし、この問題を、最高裁判所の手に委ねています。だから私たちは、この展開を見守るしかありませんが、間違いなく、これは、私たちが今住んでいる、非常にリベラルな国の憤怒を買うことになるでしょう。アミール、これらすべ

てが、大患難の間に起こることを煽っていると思います。時は、かなり終わりに近づいていると思います。夜が深まり、昼が近づいているように思います。

しかし感謝なことに、私たちは闇の中にはいません。パウロがテサロニケの教会に書いたように、これらすべてのことが、突然私たちを襲うことはありません。

アミール： 私も同感です。私もあなたに完全に同意します。そして、これが、私たちが人々に伝えようとしていることです。そして今日起こっていることの多くは、旧約聖書の預言者によって預言されてきたことです。例えば、エゼキエルとか。そのため私は「Revealing Revelation」と「Discovering Daniel」を書いた後「Exploring Ezekiel」を書くに至ったのです。



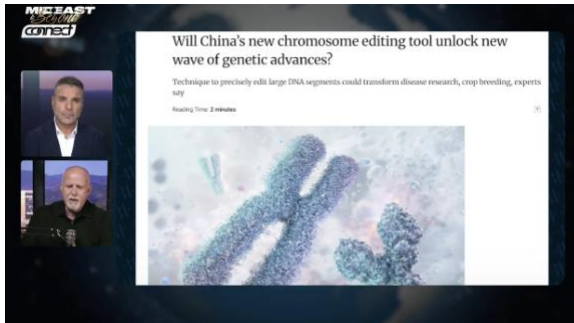
私の次の本「Exploring Ezekiel」は、なんと、10月7日に発売されます。私が10月7日を選んだのは、あの日、

ハマスは、悪を謀ったかも知れませんが、しかし、皆さんに知って欲しいのです。この日、神が、イスラエルに対する約束をいかに果たされたかを語る本が発売になります。そして神は、これからも約束を守られます。ですから、このQRコードをスキャンして予約注文してください。大手店舗の注目を集めて、店頭に並べましょう。そうすれば、未信者たちが偶然それを見つけて、それをつかみ、そして、この世界で起こっていることを、やっと理解するかも知れません。

バリー牧師、中国の遺伝子編集の躍進について、詳しく教えてください。

バリー： はい、この話については、私たちが認識しておくべき興味深い点があります。この記事によれば、何十年もの間一部の生物学者の課題となっていたものが、克服されたとのこと。科学者たちが、数百万の塩基対を正確に操作できる新しい遺伝子編集ツールを開発しました。つまり、私たちが写真で目にする、二重らせん構造、ねじれた梯子のようなもので、塩基対がそれぞれ繋がっています。興味深いことに、記事は続いています。1つの細胞の中に約30億の塩基対があり、そして、そのスパインによって連結されたこれらの塩基対は、それぞれが、ヌクレオチド塩基と呼ばれるもの

で覆われていて、それらは4つある。そしてそれらは特定の順序で配置されており、その配置順序は、どのような機能を持ち、何を構築するのかなど、特定の細胞に伝えるコードです。しかし、人々が理解していないのは、それぞれの細胞の複雑さであると思います。昔は、分子の世界を深く探究す



れば、単純なものが見つかるだろうと考えられていました。しかし、彼らは単純さを見つけたのではなく、複雑さを見つけたのです。そしてそのことが、設計士の存在を告げています。複雑な仕様情報や機能情報を見るとき、数百万の塩基対が、細胞あたり約 30 億個あるということ自体が、「はじめに神が天と地を創造した」ことを物語

っています。

しかし、武漢の医学研究大学で今起こっているこの進展は、少なくとも最初の隠れ蓑として、遺伝子コードを操作しようとしたのです。彼らは、より良い製品を生み出し、特定の果物や野菜を栽培して植物の収穫量を増やすことなどが目的だと言います。しかし、アミール、これを危惧している人たちは、ここから「合成生物学」と呼ばれるものにつながると言います。つまり、遺伝子コードの操作で、病気にならない人種や、“スーパー人種”のような人間が出現する日も近いでしょう。私は、これは今日の締めくくりにふさわしい話だと思いました。なぜなら、今や、人間が神を演じていますから。私はこれは、要約のひとつだと思うのです。人間が神になり代わろうとすることほど、神がなされた御業や、神が人類に対して持っておられる目的からかけ離れたことはないと思います。ですから、これは重大な出来事で、これもまた、私たちが予測してきた終わりの日の出来事に繋がると思います。人間は神を必要とせず、愚か者は心の中で「神はいない」と言っています。これが、今日の私たちの現状だと思います。

アミール： 武漢で起こったペテンは、これが初めてではありません。

バリー： 本当だ。初めてではありません。突然、この名前が世界中に知れ渡った。とにかく、めちゃくちゃです。

アミール： バリー牧師…どうぞ。

バリー： ええ、私たちは理解しなければなりません。先ほど核酸塩基や、二重らせん構造と、その重要性などについて触れましたが、それを理解するには、聖書を実際に読んでみればきっと驚くと思

ます。神についての記述の中で、神は何度も被造物に対する責任を明確にしておられます。だから、有神論的進化論のようなものには、注意する必要があると思うのです。神はただ、すべての要素をそこに放り投げて、あとは宇宙に任せた、とか。それは、実際の出来事とは違います。私たちには、始まりから 6 日間、夜昼周期で起こったことの、正確な歴史的記録があるのです。神は存在するすべてのもの、あなたが見るすべてのもの、今日まで続くすべてのもの、いつか消滅して、新しく作られるもの、全てを創造されました。そして、神はご自分が行ったことに対する称賛を求めておられます。

(**アミール**：その通り。) 神は、人類がこれらのものを創造したという功績を主張することは望んでいません。

アミール： ええ、その通りです。

そして、預言や終末について私たちが語ることの多くをトピックとして、私たちは、電子メールで毎週ディボーションを送っています。私たちは、過去数年間のすべてを、365 日のディボーションにまとめ、クリスマスに間に合うようにしました。12月上旬に発売予定です。ご希望の方は、この QR コードをスキャンしてここで予約注文できます。



さて、バリー牧師、そろそろ終わりの時間です。アロンの祝福で終わりましょう。皮肉ではなく、アロンの祝福です。どうか、できるだけ多くの人にこれをシェアしてください。

バリー： 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。イエシュアの御名において、この祈りを捧げます。アーメン。

アミール： アーメン、アーメン、アーメン。

ご覧くださった皆さん、ありがとうございました。バリー牧師、ありがとうございます。このビデオをシェアして、真実を求める人々に真実を知らせましょう。真実を求めず嘘を選ぶ人たちには、神が強い惑わしに渡された人々だと思います。しかし、真実を求める人は、真実を見つけることができるのです。それが私たちの仕事です。真実をできるだけ多くの人とシェアしてください。ありがとうございました。神の祝福がありますように。ガリラヤとカリフォルニアから、シャローム



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル



ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>
